

JavaScriptの使い方

JavaScriptの使い方

JavaScriptの使い方は主に2つあります。

1. `script`タグを書いてその中にJavaScriptを書く

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <title>Document</title>
</head>
<body>
  <head></head>
  <main></main>
  <footer></footer>
  <script>
    // ここにJavaScriptを書く
  </script>
</body>
</html>
```

2. 別ファイルを用意してHTMLで読み込む

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <title>Document</title>
</head>
<body>
  <head></head>
  <main></main>
  <footer></footer>
  <script src="ここにパスを書く"></script>
</body>
</html>
```

JavaScriptのファイル拡張子は`.js`です。

`script`タグをHTMLの下に書いていますがJavaScriptはDOMが生成された後に実行されます。

なのでその前に読み込んでしまうと自分の書いた処理が上手く実行されないこともあります。

headタグに書く方法もありますが、基本的に外部ファイルのみこのやり方で可能ですが、あまりオススメはしません。

分かりやすい記事があったのでそちらも合わせて読んでください。

参考記事

またHTMLに直接読み込ませる方法と、別ファイルを作ってやる方法どっちが良いのかと疑問に思うかもしれませんが、基本的には別ファイルにして読み込むようにしてください。

実務だとかなり長いHTMLなのでそこにJavaScriptも書くと、1つのファイルの容量が大きくなってしまいます。

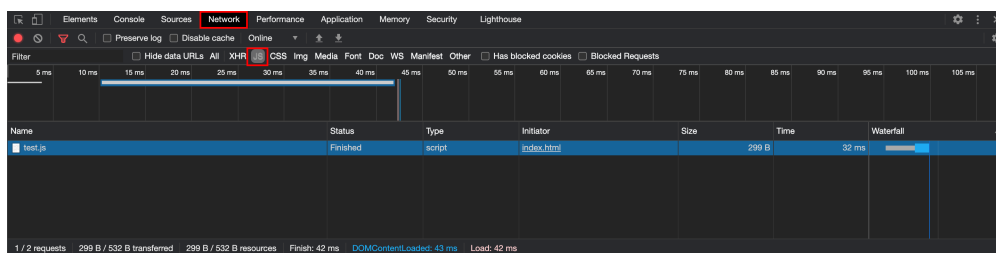
保守観点から見ても分けておいた方が良くのと、JavaScriptは圧縮することが多いので一緒にしてしまうとそれができなくなってしまうので分けて利用することが多いです。

確認方法

HTML上では書いていてもブラウザで読み込めているか気になりますね。

正しく読み込めているか確認する方法ですが、

1. ブラウザーのデベロッパーツールを開く
2. "Network"を選択
3. "JS"を選択



すると作成したJavaScriptのファイルが読み込めているか確認できます。

ただしこれは**別ファイルを用意してHTMLで読み込む**の方法でしか適用されないので注意してください。

課題

上記で紹介したHTMLの中に書き込むパターンとJavaScriptのファイルを別に作るパターンをそれぞれ作ってください。

HTMLファイルもそれぞれ作成してください。

JavaScriptはのコードは下記のコードを書いてください。

```
var text = "JavaScript";
```